

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	公衆便所維持補修事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境政策課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	02 清潔で美しい環境をつくる
事業実施期間	～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	いずれのトイレも、駅利用者、周辺住民に利用されており、公衆衛生に役立っている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	年間を通じて公衆便所を清潔に保つ。
対象 ※誰、何に対して	公衆便所(3箇所:篠原町、JR厄神駅、JR神野駅)
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	公衆便所(3箇所)の清掃を委託する。また、必要に応じて修繕等を行う。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	2,947 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	5 千円
	一般財源	2,942 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	03 環境衛生費
細目	010 環境衛生事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	2,947 千円	2,896 千円	2,839 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 市民の公衆便所に対する設置要望が強く、環境衛生上必要な施設であり、経費の削減は難しいと考える。
---------------------------------------	---

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	公衆便所維持補修事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境政策課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	犬の登録・猫引取り事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境政策課

【基本情報】

基本目標	03うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02資源の循環と環境美化を推進する
施策	02清潔で美しい環境をつくる
事業実施期間	～ 永年
事業区分	④義務的施策事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	狂犬病予防法

【事業概要】

現状と課題	国内における狂犬病の発症例が皆無であり、飼い主に危機感がないため、予防注射の接種率は横ばい傾向にある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	高齢者や動物病院の少ない地域に住む住民に配慮し、巡回による予防接種を実施することで利便性の向上を図る。また、接種催促状を送付することにより、狂犬病予防注射接種率の向上を図る。
対象 ※誰、何に対して	市に登録のある犬の飼い主
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	犬の飼い主に狂犬病予防注射の案内通知を送付する。4月には市内の公園や公民館等へ獣医師とともに出向き、巡回による予防接種を実施する。年度の後半には未接種犬の飼い主に接種催促状を送付する。一年を通じて獣医師会に予防接種に関する事務を委託する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	3,107 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	2 千円
	地方債	千円
	その他特財	3,105 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01一般会計
款	04衛生費
項	01保健衛生費
目	03環境衛生費
細目	005犬の登録・猫引取り事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	3,107 千円	3,215 千円	3,261 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	犬の登録業務等については、狂犬病予防法に基づく業務であり、継続して実施する必要がある。また、猫の引き取り業務については、県からの委託金を受けての業務であり、確実に事務処理を行っていく必要があるが、定時定点での猫の引き取りがなくなったため、引取り件数は0件となっている。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	犬の登録・猫引取り事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境政策課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度

【事業実績】

活動指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目標値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	環境衛生事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境政策課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	02 清潔で美しい環境をつくる
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	保健衛生の推進を図っているが、ごみ減量化や保健衛生のさらなる推進に向けた取り組みが必要となっている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民の健康水準の向上と保健衛生の推進を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び加古川市保健衛生協議会の役員・保健衛生推進委員
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川市保健衛生協議会に対して、運営補助金を交付することにより、当協議会の運営を支援する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	1,276 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,276 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	03 環境衛生費
細目	010 環境衛生事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	1,276 千円	1,317 千円	1,296 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 ごみ分別の徹底、ごみ減量の推進、ごみ集積場の環境保持などの観点から、保健衛生協議会への補助は、今後も継続して行う必要があると考える。
---------------------------------------	--

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	環境衛生事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境政策課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
単位町内会・自治会	町内 会・自 治会	322	321	321
支部	地区	25	25	25

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
保健衛生推進委員研修 会開催回数	回	26	25	25
活動指標 分析結果	限られた運営費で各地区ごとの研修会をさらに充実させるために、平成25年度から推進委員の全市研修会を廃止した。しかし、平成34年度の広域ごみ処理に向けて、ごみ減量20%を達成することが喫緊の課題であるため、平成27年度より全市研修会を復活させるなど更なる研修会の充実を図っている。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
地区別研修会参加者数	人	621	623	609	平成28 年度	630
全市研修会参加者数	人	353			平成28 年度	350
成果指標 分析結果	補助金が減額され続けている現状ではあるが、予算の範囲でできる限りの事業展開をする必要がある。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	環境美化啓発事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	02 清潔で美しい環境をつくる
事業実施期間	平成16年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	地域での一斉清掃については、一定の広がりが見られるようになった。また、アダプトプログラムについては、高齢化等による理由から活動を停止する団体もある。アダプトプログラム参加団体の増加が課題。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民の環境美化への意識向上
対象 ※誰、何に対して	市民・町内会
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	アダプトプログラム登録制度を実施し、活動団体を支援する。地域の清掃活動に対して支援を行い、美化活動推進の啓発を行う。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	223 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	223 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	01 清掃総務費
細目	010 環境美化推進事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	223 千円	263 千円	431 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	市民ボランティア団体への側面的支援により、地域コミュニティを図りながら美化活動への意識向上に貢献していると考えられる。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	環境美化啓発事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第1課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
単位町内会・自治会	町内会・自治会	321	321	321
加古川市人口（4／1付推計人口）	人	266,100	267,148	268,053

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
町内会一斉清掃実施団体	団体	225	235	220
アダプトプログラム登録団体数	団体	38	38	39
活動指標分析結果	町内会一斉清掃実施団体に対しては、清掃活動への支援としてごみ袋の支給、ごみ袋の貸出しを行っている。アダプトプログラムについては、普及啓発を行い参加団体を増やす必要がある。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
町内会一斉清掃回数	回	519	521	456	平成28年度	530
アダプトプログラム登録団体数	団体	38	38	39	平成28年度	50
成果指標分析結果	地域美化のPR等により、地域の美化意識の高揚に繋がっており一斉清掃の実施回数が安定したとなっている。					



加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	不法投棄対策事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	02 清潔で美しい環境をつくる
事業実施期間	平成14年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	不法投棄問題が年々増加しているなかで、ごみの適正処理に対する市民の意識の啓発や快適な生活環境の保持のため、事業を継続する必要性が高いと考えている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	看板の設置やパトロール等を行うことにより、不法投棄を抑止する。
対象 ※誰、何に対して	市域全体
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	●不法投棄防止看板の作成・設置 ●巡回パトロール ●不法投棄物の収集

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	855 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	855 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	01 清掃総務費
細目	010 環境美化推進事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	855 千円	961 千円	1,170 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	市の管理地における不法投棄事案については、本事業によって対応せざるを得ない状況である。投棄件数の推移を勘案してパトロールの回数、ルート選定の見直し等の改善は必要である。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	不法投棄対策事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第1課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
不法投棄発見件数	件	237	271	231

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
不法投棄受理件数	件	237	271	231
不法投棄物回収量	k g	14,825	14,570	16,540
防止看板設置枚数	枚	40	14	19
活動指標分析結果	平成27年度の不法投棄件数及び回収量は例年と比べほぼ横ばい傾向であり、今後も引き続き頻発する地域を集中してパトロールを行うように改善する。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
不法投棄解消率	%	100	100	100	平成28年度	100
不法投棄回収率	%	100	100	100	平成28年度	100
成果指標分析結果	清潔で美しい環境づくりのため、不法投棄解消率及び回収率は全量回収の100%を目指すべきであり、妥当なものとする。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	し尿収集管理事業に要する一般的経費	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	02 清潔で美しい環境をつくる
事業実施期間	昭和34年度 ～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	し尿くみ取りの世帯数は、公共下水道の普及及び合併処理浄化槽の設置により減少傾向にある。平成27年度は6,992世帯(直営及び委託収集対象)。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	し尿処理手数料の賦課徴収を行うことにより、し尿収集事業を適正に執行し、生活環境の保全及び公衆衛生の確保を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川市一般廃棄物処理基本計画に基づき、し尿くみ取り便槽から排出されるし尿の収集運搬を必要とする者。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	家庭等から排出されるし尿の量に対して、し尿処理手数料の賦課徴収を行う。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	1,045 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,045 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	06 し尿処理費
細目	005 し尿収集管理事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	1,045 千円	1,176 千円	1,130 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	し尿収集に係る管理事業について適正な運営管理を行った。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	し尿収集管理事業に要する一般的経費	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度

【事業実績】

活動指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目標値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	し尿収集事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	02 清潔で美しい環境をつくる
事業実施期間	昭和34年度 ～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	し尿くみ取りの世帯数は、浄化槽の設置数や公共下水道の普及により減少傾向にある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	家庭等から排出されるし尿を適正(定例的・効率的)に収集・運搬する事で生活環境の保全及び公衆衛生の確保を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川市一般廃棄物処理基本計画に基づき、し尿くみ取り便槽から排出されるし尿の収集運搬を必要とする者。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	し尿収集登録世帯の内、直営が担当する地域のし尿収集・運搬を適正に実施する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	10,482 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	10,482 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	06 し尿処理費
細目	010 し尿収集事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	10,482 千円	8,294 千円	8,095 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	今後は下水道及び合併処理浄化槽の普及に伴い、し尿収集世帯及びし尿収集量は減少すると考えられるが、引き続き適正な業務運営を行う。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	し尿収集事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	し尿終末処理施設管理運営事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	02 清潔で美しい環境をつくる
事業実施期間	昭和42年度 ～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	尾上処理工場の運営に付随する事務（業務委託手続、浄化槽清掃業許可等）、浄化槽設置届受付事務のほか、公用車の管理等の事務を実施している。事務所は2階にあり、文書庫や会議室はなく書類の保管場所が不足している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	尾上処理工場の事務を適正に実施することにより、施設の健全な運営を推進する。
対象 ※誰、何に対して	尾上処理工場
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	事業予算を有効に活用し、尾上処理工場の効率、適正な管理運営を行う。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	683 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	495 千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	188 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	07 し尿処理施設費
細目	005 し尿終末処理管理事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	683 千円	363 千円	247 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>平成13年度から加古川下流浄化センターにし尿及び浄化槽汚泥の全量処理委託を行い、業務の効率化を図りし尿及び浄化槽汚泥の適正な処理を行っている。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	し尿終末処理施設管理運営事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度

【事業実績】

活動指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目標値
成果指標 分析結果						



加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	し尿終末処理施設維持補修事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02資源の循環と環境美化を推進する
施策	02清潔で美しい環境をつくる
事業実施期間	昭和42年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、浄化槽法、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	平成7年から主処理（し尿等の無害化処理）と並行して加古川下流浄化センターへの下水道投入処理を開始、平成13年度以降は主処理を停止し、単一の処系統で運転を続けているが、故障が頻発するなど維持管理上問題があり、大規模改修・更新が必要である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川下流浄化センターの受入基準（希釈し尿の水質）に適合するよう、し尿・浄化槽汚泥の前処理（砂・し渣の除去）を行い、施設の安定的な稼働、処理機能の維持を図る。
対象 ※誰、何に対して	尾上処理工場
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	尾上処理工場の設備等の保守点検、整備を行い処理機能の維持及び運転管理をする。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	57,805千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	5,600千円
	一般財源	52,205千円

【会計】

会計	01一般会計
款	04衛生費
項	02清掃費
目	07し尿処理施設費
細目	010し尿終末処理施設維持補修事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	57,805千円	75,229千円	54,091千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>現在の施設は昭和42年度に設置され、昭和55年度に大規模改修を実施した。平成7年度からは主処理（し尿等の無害化・公共水域に放流）と並行して下水道投入処理を開始、平成13年度には、下水道投入処理に一本化したため、単一の処理系統だけで稼働を続けており、一部の故障により全体が停止する構造となっている。平成13年度の改造部分を含めて老朽化が進んでおり、今後大規模改修・施設全体の更新が必要である。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	し尿終末処理施設維持補修事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	し尿終末処理事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	02 清潔で美しい環境をつくる
事業実施期間	平成7年度 ~ 永年
事業区分	④義務的施策事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、浄化槽法、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	兵庫県との協定に基づき、市内の受入し尿等を加古川下流浄化センターに投入している。尾上処理工場は、平成13年の改造部分を含めて施設全体の老朽化が進んでおり、平成13年度以降の単一処理系統では維持管理上問題（施設全体が停止する）があり、大規模改修・更新が必要である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市単独でし尿・浄化槽汚泥を適正処理するため、処理施設を建設、運営することと比較して、コストが低い加古川下流浄化センターに処理委託し、適正処理を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川市域から発生するし尿・浄化槽汚泥。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	尾上処理工場に集められた、し尿・浄化槽汚泥を前処理を行ったうえで加古川下流浄化センターに投入し、し尿等の適正処理を行う。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	138,641 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	138,641 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	07 し尿処理施設費
細目	010 し尿終末処理施設維持補修事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	138,641 千円	139,147 千円	146,348 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>し尿の搬入量は減少傾向にあるが、最近、浄化槽汚泥の搬入量が増加傾向にあり、浄化槽汚泥混入率の上昇（H13年度26%⇒H27年度47%）により投入し尿の性状が変化しており、兵庫県の受入基準を遵守することが難しくなっている。この傾向は平成28年度以降も継続すると考えられるため、従来の前処理・希釈処理工程の見直しが必要である。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	し尿終末処理事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	し尿収集運搬業務委託事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	02 清潔で美しい環境をつくる
事業実施期間	昭和42年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	公共下水道及び合併処理浄化槽の普及によりし尿収集登録世帯数は減少傾向にある。平成28年4月1日現在でのくみ取り世帯数においては、委託対象は3,994世帯、直営対象は2,643世帯、全体で6,637世帯である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	家庭等から排出されるし尿を適正(定例的・効率的)に収集・運搬する事で生活環境の保全及び公衆衛生の確保を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川市一般廃棄物処理基本計画に基づき、し尿くみ取り便槽から排出されるし尿の収集運搬を必要とする者。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川市一般廃棄物処理基本計画に基づき、し尿収集登録世帯の内、し尿収集運搬業務委託による委託区域のし尿収集・運搬を適正に実施する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	95,351 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	95,351 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	06 し尿処理費
細目	005 し尿収集管理事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	95,351 千円	96,007 千円	102,425 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	今後は下水道及び合併処理浄化槽の普及に伴い、し尿収集世帯及びし尿収集量は減少すると考えられるが、引き続き業務量の正確な把握に努め、効率的で適正な業務の実施を行う。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	し尿収集運搬業務委託事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
し尿収集登録世帯数	世帯	6,992	7,259	7,488

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
し尿収集運搬業務委託業者数	社	8	9	9
活動指標分析結果	し尿収集世帯は、下水道整備及び合併処理浄化槽の設置により減少傾向にあるが、完全に無くなるまでは引続きし尿収集業務を実施しなければならず、適正かつ効率的な事業執行を行う。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
委託によるし尿収集世帯数	世帯	4,167	4,347	4,483	平成29年度	3,805
成果指標分析結果	公共下水道及び合併処理浄化槽の普及により、し尿収集世帯数は減少傾向にある。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	合併浄化槽設置補助事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02資源の循環と環境美化を推進する
施策	02清潔で美しい環境をつくる
事業実施期間	平成25年度～平成29年度
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市浄化槽設置整備事業補助金等交付要綱

【事業概要】

現状と課題	平成27年3月20日付で「加古川市公共下水道計画区域の都市計画変更」が決定され、補助対象地域が拡充された。平成28年1月に「東播臨海広域市町圏における循環型社会形成推進地域計画」において合併処理浄化槽の設置事業計画等の変更申請を行い、計画基数増としている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	合併処理浄化槽の設置及び適正な維持管理を促進し、生活環境の改善と公共水域の水質保全を推進する。
対象 ※誰、何に対して	加古川市生活排水処理計画での公共下水道、農業集落排水処理施設で排水処理することとされている区域以外の区域で、都市計画法に規定する工業専用地域以外の区域において、10人槽以下の浄化槽を設置しようとする者及び適正な維持管理を行った者。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	設置する合併処理浄化槽の人槽に応じて5人槽77万円～10人槽125万円の補助金を、合併処理浄化槽設置にあたり単独処理浄化槽の撤去費補助6万円を、汲取りから合併処理浄化槽への改造工事は5万円、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への改造工事は2万5千円の助成金を交付する。その他、高度処理型浄化槽の設置の場合は上乗せ補助を設けている。また、維持管理費補助は2万円を交付する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	270,291千円	
財源内訳	国庫支出金	45,932千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	224,359千円

【会計】

会計	01一般会計
款	04衛生費
項	02清掃費
目	06し尿処理費
細目	015合併浄化槽設置補助事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	270,291千円	5,044千円	7,459千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>公共下水道整備区域外の生活排水による公共水域の汚濁を防止するためには、合併処理浄化槽の設置が不可欠であり、本補助事業が設置促進に寄与するものと考えられる。公共下水道整備区域の見直しにより設置補助事業の拡充と維持管理費補助事業の創設を行った。今後は新補助事業の適正な執行のほか、広報、ホームページ、チラシ配布及び説明会等による市民や設置業者への積極的なPRも図っていく必要がある。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	合併浄化槽設置補助事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
公共下水道・農業集落排水処理施設対象区域外人口	人	13,383	2,436	2,421

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
合併処理浄化槽設置補助申請件数	件	288	9	14
合併処理浄化槽維持管理費補助申請件数	件	258		
活動指標分析結果	広報、各戸配付チラシ及び市から依頼した関係業者からの周知PRにより問合せも増加し、補助金制度の周知は図られていると考えるが、より推進していくためには新たな周知PRも必要になると考える。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
合併処理浄化槽設置補助交付件数(H25～H29累計)	件	311	23	14	平成29年度	912
生活排水処理率	%	94.6			平成32年度	97.6
成果指標分析結果	浄化槽処理区域内の設置状況は、循環型社会形成推進地域計画に基づき、平成25年から5年間で、912基を設置目標とし、3年間で311基を設置済みである。また、生活排水処理率の平成27年度実績は94.6%で、今後も処理率は伸びていくと考える。					



加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	し尿収集車両購入事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	02 清潔で美しい環境をつくる
事業実施期間	昭和34年度 ~ 永年
事業区分	⑦投資事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	し尿くみ取りの世帯数は、浄化槽の設置数や公共下水道の普及により減少傾向にある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	家庭等から排出されるし尿を適正(定例的・効率的)に収集・運搬する事で公衆衛生を確保する。
対象 ※誰、何に対して	加古川市一般廃棄物処理基本計画に基づき、し尿くみ取り便槽から排出されるし尿の収集運搬を必要とする者。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	し尿収集登録世帯の内、直営による担当地域のし尿収集・運搬を適正に実施する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	7,196 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	5,300 千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,896 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	06 し尿処理費
細目	020 し尿収集車両購入事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	7,196 千円	7,026 千円	6,675 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	し尿収集量は減少しているが、し尿を適正に収集運搬し公衆衛生を確保する必要性がある。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	し尿収集車両購入事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
し尿収集登録世帯数	世帯	6,992	7,259	7,488

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
直営担当し尿収集世帯	世帯	2,825	2,912	3,005
活動指標分析結果	下水道整備の進捗、合併処理浄化槽設置にともない、直営担当し尿収集世帯は減少している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
し尿収集量	k l	8,650	8,985	9,416	平成29年度	8,020
成果指標分析結果	下水道整備の進捗、合併処理浄化槽設置にともない、し尿収集量は減少している。					